

EY グローバル・フォレンジック・データ・アナリティクス・サーベイ 2018 を発表 グローバル企業の EU 一般データ保護規則「GDPR」対応に遅れ

- ▶ 78%がデータ保護とデータプライバシーに関するコンプライアンスについて懸念
- ▶ GDPR 対応に向けた計画がある企業はいまだ 33%にとどまる
- ▶ ロボティクスや AI を含む高度な FDA 技術の採用が今後 12 カ月間で増加

EY が 1 月 31 日に発行した、EY グローバル・フォレンジック・データ・アナリティクス(FDA)サーベイ 2018 によると、グローバル企業の 78%がデータ保護とデータプライバシーに関するコンプライアンスについて懸念を表明しており、規制強化の圧力はビジネスリーダーにとって最重要課題であることが判明しました。

3 回目となる EY グローバル FDA サーベイ(2 年に 1 回調査)では、19 カ国 745 人の経営層の方々にご協力いただき、グローバル企業が直面する法的リスク、コンプライアンスリスク、不正リスクや、それらを管理するためのフォレンジック・データ・アナリティクスの活用状況を分析しました。

サーベイ結果では、2018 年 5 月 25 日に EU 一般データ保護規則(GDPR)が施行されるまで 4 カ月を切ったタイミングにも関わらず、EU 法を遵守する計画を立てているという回答は 33%にとどまりました。地域別にみると、欧州では 60%が GDPR に関するコンプライアンス計画を策定しているなど、ポジティブな回答の割合が多い一方で、アフリカおよび中東(27%)、北・中・南米(13%)、アジア・パシフィック(12%)を含む、他の地域では十分な準備を行っている企業は少なく、まだ対応すべき事柄が多く残っていることがわかりました。

EY の不正調査、不正対策、コンプライアンス専門のサービスラインである Fraud Investigation & Dispute Services(以下、FIDS)のグローバルリーダーであるアンドリュー・ゴードンは、次のように述べています。「規制改革のスピードは依然として加速しており、GDPR などのデータ保護法やデータプライバシー法の導入は、グローバル企業にとって大きなコンプライアンス上の課題となっています。一方で、FDA をすでに活用している企業は、より効果的なリスク管理が可能となり、あらゆるビジネスの透明性を高めるという大きなメリットを得ています。」

リスク管理を目的とした FDA の活用の増加

本サーベイによると、FDA への平均年間支出は 2016 年比で 51%増加しており、多くの経営層が、FDA が組織のガバナンス・プログラムに対し、価値およびメリットがあると強く感じています。また、法務やコンプライアンス、不正リスクを管理するために、これまで使用していたベーシックな FDA ツールではなく、Robotic Process Automation (RPA)を活用した高度な FDA 技術を採用していると回答した企業は 14%に上りました。

た。そして、今後 12 ヶ月以内に 39%が RPA の活用を、次いで 38%が人工知能 (AI) の活用を前向きに検討していると回答しました。

データ保護およびデータプライバシー規制が、FDA の構築または活用方法に大きな影響を及ぼすと回答した企業は 42%に上りました。また、13%が現在 FDA を活用して GDPR に関するコンプライアンスに対応していると回答し、半数以上 (52%) が、どの FDA ツールが GDPR に関するコンプライアンスに対応するために有用なのかを、現在精査していると答えています。

FDA の潜在能力を最大限に引き出す人材およびスキルへの投資

本サーベイでは、高度な FDA テクノロジーの活用拡大および投資は、スキルを持つ人材へのさらなる投資とともに行われる必要があることも述べています。自社の人材が FDA 活用のための適切なスキルを有していると感じている企業はわずか 13%で、適切なデータ分析およびデータサイエンスの専門知識を持っていると考えている企業は、12%にとどまりました。

「FDA を単なる技術として捉えるのではなく、その技術およびリスクを管理する際にどのように活用できるかを考える必要があります。先進的な FDA への投資額拡大を奨励する一方、リスクプロファイルを上手く管理するためには、企業は適切な人材を採用し、専門知識やデータ分析など、核となるスキルに投資する必要があります。」とゴードンは述べています。

※本リリースの原文は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。

〈EY について〉

EY は、アシュアランス、税務、トランザクションおよびアドバイザーなどの分野における世界的なリーダーです。私たちの深い洞察と高品質なサービスは、世界中の資本市場や経済活動に信頼をもたらします。私たちはさまざまなステークホルダーの期待に応えるチームを率いるリーダーを生み出していきます。そうすることで、構成員、クライアント、そして地域社会のために、より良い社会の構築に貢献します。

EY とは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバル・ネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。詳しくは、ey.com をご覧ください。

このニュースリリースは、EYGM Limited (EYGM Limited) によって発行されました。EYGM Limited は、世界の EY 組織の一員で、いかなるクライアントにもサービスを提供していません。

〈EY の不正対策・係争サポートについて〉

不正、法令遵守、ビジネス紛争の複雑な問題を扱うことは、成功への努力を損なう可能性があります。不正リスクとコンプライアンス問題の管理は、規模や業種に関係なく、重要なビジネス上の優先事項です。世界中の約 4,500 の不正調査および紛争の専門家を抱え、EY は財務およびその他の調査を迅速かつ効果的に実施し、電子的な証拠を収集および分析するために必要な分析的・技術的スキルを提供します。あなたと法律顧問と緊密に協力して、適切な専門分野の高度に連携したチームを組成し、あなたが世界のどこにいても、挑戦的な状況に客観的なアプローチと新たな視点をもたらします。一貫性のある方法論による丁寧なサービスが必要であることを理解しているため、幅広い分野の経験、深い知見、世界的な活動から得られた最新の洞察の恩恵を与えるよう努めています。

《本件に関するお問い合わせ先》

EY Japan BMC (Brand, Marketing and Communications)

Tel 03-3503-1037 Fax 03-3503-1041